

<フランス研修報告>

教育学部 大庭三枝、(教育学部保育コース3年3人(大庭ゼミ)も参加)(2025年3月4~10日)

1. フランス保育学校・乳幼児施設調査

3月4日(火)

<Reuilly 保育学校 (Sandra Lestruhaut 先生 (AGEEM 会員) による受け入れ、OMEP France の協力) >

5歳児クラスにおける活動見学→大庭による折り鶴アトリエ実施(学生はATとして参加)→学校見学

→校長・国民教育省視学官と質疑応答



SDGs (不要になったカードを使って描画)



5歳児が制作した折り鶴



Sandra 先生と一緒に



BAUDOT 校長、DUMERAIN 国民教育省視学官から、フランスの保育学校における保育者・補助職員の配置、年齢別デイリープログラム(午睡・給食)の説明、保育活動の構成など説明を受けた。生活しやすい場所として、午睡の時には安心して眠れるよう自宅からお気に入りぬいぐるみを持参してもよいなど、保護者と話し幼児一人一人の発達やリズムに配慮している。

3月5日(水)

<Sainte Amélie 乳児保育所> (OMEP France の協力)

Elodie 所長による説明→施設見学(屋外で午睡するスペース、保育室等)→質疑応答



屋外の午睡スペース



施設に入る時の靴カバー



Elodie 所長（右端）と OMEP France Perruchon 名誉会長（大庭の右）と一緒に

ペール・ラシェーズ墓地と公園に隣接しパリとは思えないほど静かであり、施設前の道路は狭く行き止まりであるため、車の交通量はほとんどなく排気ガスの心配もないという環境を活かし、乳児の午睡は十分に温かくして屋外で行われる。様子観察は頻繁に行われ、乳児の午睡の状態を把握し保護者に報告する。子どもによっては適応しない場合もあるので、観察を基に保護者と綿密に話し合いを行いながら、実施する。屋外午睡の最大の利点は、自然環境の中で五感の発達が促されるとともに、子どもの眠りが深い点である。ただ、真夏と真冬は気温により中止もある。

3月7日（金）

<Boursault 保育学校> ソルボンヌ大学 INSPE・BOUVIER 国際交流担当副学科長、パリ・アカデミーCOUTISSON 指導主事（外国語担当）、CASABIANCA 校長の案内



ホールに集まった幼児と地元合気道の師範（地域ボランティア）が日本語の歌「はとぽっぽ」で迎えてくれた。東京の学校と交流があり日本語の歌に慣れているので、手遊び「むすんでひらいて」を実演し一緒に楽しんだ。（写真は Coutisson 指導主事撮影）

2. UNESCO 訪問（3月5日）（OMEP France の協力）

Gwang-Chol CHANG ユネスコ教育政策セクション長、Nina ROTTGER ユネスコ教育政策セクション幼児教育チームが対応：全世界における教育政策へのユネスコの働きかけ（子ども主体の学ぶ権利の保障）と、重要度が増す幼児教育への関与（国家の教育政策・予算への働きかけ）などについて説明を受けた。



3. 初等教育（保育学校・小学校）教員養成機関パリ・ソルボンヌ大学 INSPE（教職大学院）における合同授業、授業参加およびそれらを通じた教材や教授法の協議

3月5日（水）<La cour des Noues 保育学校>Anne DUBREL（INSPE 教員）・Christina CARRICO 教諭の M 1 授業 APP（Atelier de Pratique Professionnelle：現場で直に子どもたちに造形活動を指導する）に観察参加（授業資料添付）、授業後のカンファレンスにて意見交換を行った。日本の造形活動として折り鶴を紹介した。



3月6日（木）<Ecole élémentaire d'application Michel Ange>Estelle TOURAINE 校長、Benoit FOCHER(INSPE 教員)、パリ・アカデミーCoutisson 指導主事の協力

INSPE の実習校であるこの小学校には日本語クラスがあり、そのクラスにて平和紙芝居「被爆アオギリ物語」と平和の手遊びを実際に行った（ゲストティーチング）。子どもたちの日本語学習への意欲は高まり、6月末に日本語スピーチコンテスト実施を目指して計画を進めている。



3月7日（金）午前<INSPE Batignolles 校舎>Benoit FOCHER(INSPE 教員)の「初等音楽教育」授業（M2）にてゲストティーチング

平和紙芝居の導入から、平和の手遊びを演習形式で行った。手遊び・体遊び歌のモチーフを理解しイメージしながら体を動かすことの重要性を実技指導した。五感を駆使しながら発達する子どもたちへの効果的な教材の開発として、FOCHER 先生と大庭で日仏の手遊び歌集（歌・動き）の編纂する計画があり、日仏の幼児教育現場に資する教材を作成する予定である。



3月7日（金）午後<INSPE Batignolles 校舎>Simon CATROS（INSPE 教員）の「子どもたちにどのように戦争と平和を語るか」授業（歴史）（M1）にてゲストティーチング（添付資料）。講義（日本被団協ノーベル平和賞受賞の意義、子どもを取り巻く環境と戦争、日本の就学前教育制度と保育内容、福山市保育・教育カリキュラム、佐々木貞子さんと折り鶴、折り鶴の持つ意味等）の後、演習として折り鶴制作を实践した。（学生には大好評であったとCATROS 氏から連絡あり。）この他、Fabrice DELSAHUT 氏（INSPE 教員、体育）とも共同で日仏体遊び集の編集を計画している。



4. フランスの歴史遺産と芸術遺産の探究（就学前教員を目指す次世代へ、現地における指導）

3月8日（土）：セーヌ川を走るバトー・ビュスに乗り、世界遺産の数々をセーヌ川から鑑賞するとともに、復興の進むノートルダム寺院、シャンゼリゼ通り（コンコルド広場から凱旋門）にて、パリの歴史遺産を探究した（学生たちへの指導）。

3月9日（日）：ルーブル美術館にて、古今東西の芸術遺産をくまなく見て回り、人類の所産としての芸術文化に心動かされる体験をした（学生たちへの指導）。

